

『栗生町活性化まちづくり協議会』だより

第1号 (平成26年7月発行)

『栗生町活性化まちづくり協議会』は6月29日(日)に発会いたしました。

**町民すべてが活力ある住み良い栗生町づくりを
理解し、協力しましょう!**



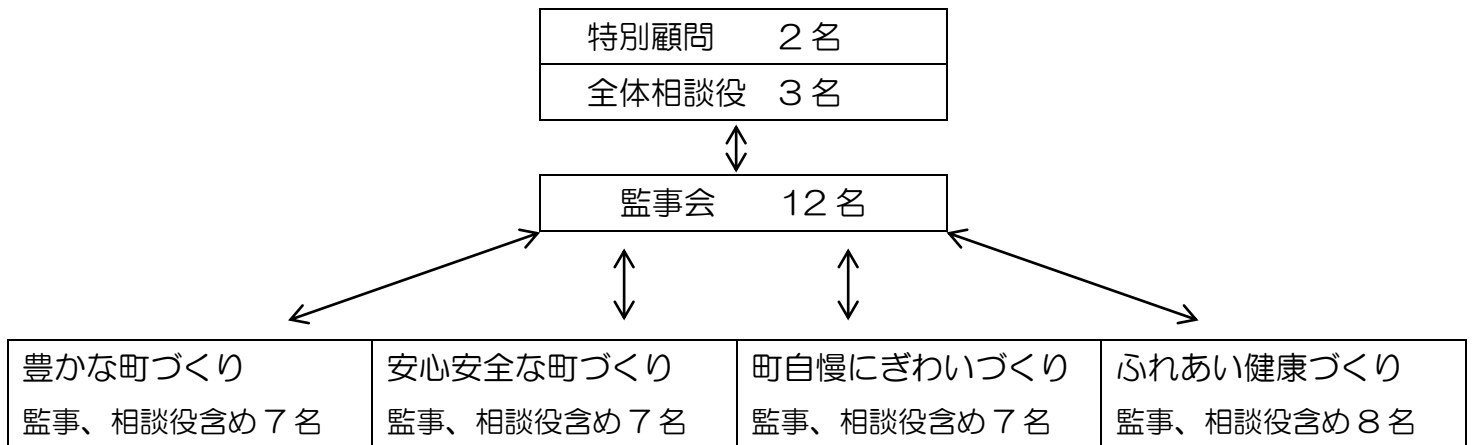
1.理念

活力ある住み良いまちづくりを目指します。

2.目的

現状に満足することなく更なる躍進を目指して、住み良くて心地よい栗生町をつくり、将来展望の活性化を図ります。更に地域福祉を充実して、“栗生に住んでよかった”と思ってもらえるような【まちづくり】を目指すために、地域住民が一体となってこれらの諸問題に取り組んで、事業を進めて行くことを目的とします。

3.組織



【豊かな町づくり】(栗生町の有効土地開発について)

例・・・商業施設の誘致・住宅開発

【安心安全な町づくり】(高齢者・児童が安心して通れる歩道づくり)

例・・・栗生小学校への安全通学路の確保

【町自慢にぎわいづくり】(町伝統芸能で賑わいの創出)

例・・・『栗生の獅子舞』演武活動の増進と交流

例・・・『栗生じょんがら』パフォーマンスの活性化

【ふれあい健康づくり】

例・・・健康ウォーキング周遊コースの設定



1. 各テーマ毎の4つの専門委員会・・・4~5名の委員、2名の監事、部門別相談役1名

2. 監事会・・・各部門別専門委員会の監事2名、各部門別相談役1名の12名

3. 合同全体委員会・・・各委員 18名 幹事会員 12名、特別顧問2名、全体相談役3名

合計 35名



約30分、重田町会長による『粟生町活性化まちづくり協議会』発会までの経過報告、および資料説明が行われました。その後、活発な討議に入りました。

議論は最初から前向きな意見、方針について議論され、お互いに熱い話し合いがされました。

安倍総理の肝いりで、16年度予算案に地域活性化事業が、急遽盛り込まれることになった。その予算を受けるためには、9月末までに事業計画を出さなければ、国の交付金はもらえない。17年度には出るかどうか分からない予算なので急がなければいけない、との提案が相談役からなされました。

第1回目の会議でもあり、多くの出席者はそこまでの具体的な考えを持って、この協議会に参加した人は、ほとんどいなかったのではないだろうか。あまりにも高い目標に呆然としていた。

いろいろ意見の出た中で、第1回目の会議から、そこまで考えること自体が無理で、自分たちの身の丈に合った、粟生町の予算内でスタートすれば良いのではないかと、の意見が大勢を占めた。

最初は市の出前講座等を受講するなど、活性化の勉強をし、予算は各専門部門ごとに10~20万円程度を粟生町の予算から支出することでまかない、各専門部門ごとに町民が何を望み、将来にどんな夢を描いているのかをリサーチして、その1つ1つを検討し、早急にやらなければいけない短期の物、少し余裕のある中期の物、長い時間を掛けて取り組まなければいけない長期の物に分けて、短期、中期、長期の計画を立てて、それに応じた予算を立て、基本的には粟生町の予算をベースとし、その枠を超える予算については市、県、

国にお願いしなければいけない場合も、出てくるだろう。

そして、地域のオンリーワンを目指して、粟生に住んで良かったと思える、活力ある住み良い町づくりを目指して、皆で力を合わせて、汗をながそう。

との申し合わせをしました。

町民一人一人の協力をよろしく

お願いいたします！

